

# ◆利休のふる里で160年、つぼ市製茶本舗 Presents 唯一無二のスイーツ開発、 ブランド革新事業

## 株式会社 つぼ市製茶本舗

高石市高師浜 1-14-18  
TEL: 072-261-7181  
FAX: 072-263-5580  
E-mail: j-tanimoto@tsuboichi.co.jp  
HP: http://www.tsuboichi.co.jp/

代表取締役



茶鑑定士六段 谷本 順一

### 【事業概要】

株式会社つぼ市製茶本舗は、創業160年目を機に、過去のブランドをすべて捨てて、本年より新たなブランド戦略の構築・展開に向け、本物の茶の香り、ほっこり癒される、新たなスイーツ“利休侘び茶くるみ”を開発販売します。

新たなブランド開発により、よりおいしく、安全・安心な茶製品、伝統的な茶文化と現代の食文化を融合し、「現代の和」を提供する企業として生まれ変わります。

この「本物の茶の味と香り、ほっこり癒される、新たなスイーツ」の開発は、新製品と新たなブランド展開により、泉州地域の消費者、全国の消費者、海外からの観光客にあらためて地域の知名度を浸透させ、発信していくことで期待ができます。

心に届く お茶造り

つぼ市製茶本舗

商品のご案内 法人のお客様

160 年 つぼ市製茶本舗について

What's New

利休-新- 抹茶あめ

利休の昔

生産者履歴

ISO 9001:2008 取得

お問い合わせ  
TEL 072-261-7181  
E-mail: j-tanimoto@tsuboichi.co.jp



## ◆農業を面であらえる地域連携型ビジネス 「儲かる6次産業」

### 株式会社 AGプロダクツ

堺市北区長曾根町130番地42  
TEL：072-254-1088  
FAX：072-257-6027  
E-mail：info@ag-products.jp  
HP：http://www.ag-products.jp/



#### 【事業概要】

株式会社AGプロダクツは、1次産業にあたる農作物の生産で沖縄県名護市に農園を有し、パパイヤ・マンゴ等の果実を生産しています。その中で生じるB級品等を活用して2次産業としての加工品を大阪府立大学と共同開発しております。

また、堺の地元企業と連携して、新商品の企画・開発並びに製造までを一貫して行っております。

3次産業にあたる流通販売に関しては、沖縄産の原材料を使用する事から、沖縄県の店舗にても販売を予定しており、さらに地元企業と連携する事により、その協力工場の販売先にも販売できます。

農作物の全てを廃棄すること無く効果的に活用し、味・香り・栄養価の高い加工食品を地域の企業と大学が協力することで、a11堺で食品ブランドを作るビジネス展開で、儲かる6次産業化システムの構築が期待できます。



## ◆地場農産物を活用したビーズ状の新食品 の開発

### アイン食品株式会社

和泉市テクノステージ1-1-1

TEL : 0725-54-3355

FAX : 0725-53-0468

H P : <http://www.ainfood.com/>



#### 【 事業概要 】

アイン食品株式会社は、地場企業として、だし・つゆ、たれ、ドレッシング類を広域ルートで生産・販売していますが、泉州地域のたまねぎ、トマト、人参、みかん、もも等の農産物の利用率は必ずしも高いとは言えない。

だし・つゆ類の主原料に多量の昆布を使用しますが、昆布原体の利用率は数%にすぎず、廃棄しています。この昆布残渣の主体構成物であるアルギンサンを抽出し、それを被覆体としビーズ状に整形し、整形時には二重管で液状化した農産物を内部充填し二重構造形態にすることで、これまでは液状、又はゼリー状であったドレッシング類と異なる新しい形状と彩りの調味料を製造販売します。

生産製造者と大阪農作物の連携で、新「おおさかもん」を発信し製品化することで、消費者により安心・安全な食品の提供が期待されます。



## ◆プロダクツニッポン:地域資源である地場産業の 商品を、英語/中国語版のショッピングモールで 海外に住む消費者に販売するECサイト構築、 その後本格的な貿易(輸出)に向けてのBtoB 市場開拓の事業

### 泉州羊毛工業株式会社

泉大津市昭和町 6-1  
TEL : 0725-33-3701  
FAX : 0725-33-1900  
E-mail : takaimai@sensuyyomo.co.jp  
H P : <http://www.productsnippon.jp/>  
【プロダクツニッポン サイト】

代表取締役  
今井 康隆



#### 【事業概要】

泉州羊毛工業株式会社は、大阪で特に南大阪で作られた優れた地場産品を世界中の人々に届ける橋渡しをするために、英語版・中国語版の小売サイトを立ち上げ、さらに本格的な輸出を目指して北米・中国での販売会・展示会出展、市場調査、輸出を行うための商談会の代行を行い販路開拓の支援をします。その後は将来のBtoBビジネスにつなげていきます。

また主に英語圏に住む 15 億人+中国富裕層 3 億人の消費者が高品質で安心できる日本製品を居ながらにして入手することができます。

府下の地場産業が生産するものを既存とは違うルートで販売することで、地場産業のOEM生産依存からの脱却や自立化が期待されます。

